

Df/Tr

災害を忘れぬ石



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県木曾町三岳永井野

緯度・経度：北緯 35 度 53 分 33.7 秒

東経 137 度 35 分 36.7 秒

伝承形式：石碑・石塔・石仏

種類 / 要因：土石流 / 集中豪雨

災害発生：1983 年（昭和 58 年）9 月 28 日

建立時期：1986 年（昭和 61 年）3 月 28 日

指定等：なし

周辺地形：谷底平野

自然災害伝承碑掲載：令和3年9月1日

国土地理院サイト：<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

1983 年（昭和 58 年）9 月 28 日、秋雨前線と台風による豪雨でがけ崩れにより沢渡川が堰き止められ天然ダムとなりました。それはやがて決壊し、下流域では農作物が土砂に飲まれました。そのような災害を教訓として忘れぬために石碑が置かれました。

周辺案内

三岳には御嶽山の清水が流れ落ちる滝（百間滝、不易の滝）や原生林が生い茂る森（油木美林）など、大自然を満喫できるスポットがたくさんあります。御岳ロープウェイもあり、標高 1570m の鹿の瀬（かのせ）駅から御嶽山 7 合目の飯森高原駅まで標高差 500m を 15 分で行き来できます。